

令和4年度香川大学入学式 学長告辞

本日、香川大学に入学された1,334名の皆さん、誠におめでとうございます。数ある大学の中から香川大学を選んでくれたこと、大変うれしく思います。また、皆さんを今日まで支えて来られたご家族や関係者の皆様に心よりお祝いと感謝を申し上げます。列席の本学役員、副学長、学部長および教職員とともに、皆さんを心から歓迎します。

一昨年春から始まった新型コロナウイルスの感染拡大という難しい環境の中、受験勉強に堪え、今日の晴れの日を迎えられました。まずは皆さんの忍耐強い頑張りに対して改めて敬意を表したいと思えます。

香川大学は1949年に創立し、今年で73年目を迎えます。これまでに6学部で62,829名が香川大学を巣立って香川県はもとより日本の国内外で活躍しています。香川大学は第二次世界大戦前に由来を持つ教育学・経済学・農学の3学部と終戦後に作られた法学・工学の両学部、さらに1978年に誕生した香川医科大学が2003年に統合し、現在の新香川大学になりました。その後、4年前には工学部が創造工学部に生まれ変わり、医学部には臨床心理学科が新設されました。社会や環境の変化などに対応して絶えず新しい息吹を吹き込みながら改革を続け、香川大学は本日、皆さんをお迎えしています。

ここに集まった新入生の約7割の方が香川県以外の出身者ですので、まずは、香川県や瀬戸内、四国のことからお話ししましょう。香川県の平野部には富士山に似た円錐形の山が点在しています。讃岐七富士とも呼ばれ、丸亀市と坂出市にまたがっている飯野山はその代表格です。ユーラシア大陸の一部であった日本列島が2000万年前に大陸から引き離されて日本海が誕生し、その後四国の下にプレートが沈み込んで火山活動が活発化しました。これらの山々は、讃岐平野にマグマが噴出したことで誕生しました。讃岐富士以外にも、高松市内にある台形の不思議な形をした屋島や高松港から北へ約20キロの小豆島にもこれらの火山活動の爪痕が貴重な自然遺産として存在しています。さて、我々が暮らす地球は、そのはるか以前の約46億年前に誕生したと言われています。香川大学では希少糖の研究を大学の代表的な研究の一つとして位置付けていることは、皆さん良くご存じのことと思います。50種類あまりの単糖の中で、人類を含め動物はブドウ糖と果糖以外は体内でエネルギー源として利用できなくなっており、そのほかの単糖は自然界にごく微量にしか存在しないため、希少糖と呼ばれています。しかし、46億年前に地球が誕生した時には、これら50種類あまりの単糖は既に全て存在していました。

人間がエネルギー源にせず、役に立たないと思われていた希少糖が、香川大学での研究により医療や農業、工業などで人類に大きな貢献をする可能性が膨らんできています。先頭を切って実用化が進むD-アロースという希少糖を作る微生物はなんと香川大学農学部の土の中から見つかりました。とても不思議なことですが、私は、46億年前の地球からの香川大学への贈り物と思っております。

さて、大学生になった皆さん、これからは多くの方が生まれ育った環境から距離を取り、自分なりの生き方を模索する時期が来ました。高校までの集団での勉学とは違って、皆さんの興味や関心に応じて履修登録し、将来の職業選択も視野に入れつつ学外でのフィールドワークやインターンシップ、ボランティア活動などで社会の人々と触れ合いながら社会的な自己を形成していく人生の大事なひと時です。それでは日本の社会の中での大学生の立ち位置はどうなっているのでしょうか。選挙権は18歳以上にすでに引き下げられていますが、この4月から日本の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。明治時代から140年間、日本での成年年齢は20歳と民法で定められていましたので我が国にとって一大変革となります。さらに、この4月1日から裁判員資格も18歳以上に引き下げられました。ここにいる皆さんは全員成人であると社会からみなされているということです。日本の社会の中で、皆さん大学生が立派な成人としてみなされるようになったということは、学長としては大変良いことだと感じています。責任ある成人として社会の構成員になることと、一方で社会に貢献できるように学びを深め、自らの人格を磨くことは何ら盾した人生の過程ではないと考えられるからです。今、ウクライナではとんでもない戦争が勃発し、多くの民間人が犠牲になっています。第3次世界大戦が身近に迫っている恐怖を、今世界中の人々が感じています。このほかにも急加速で進む地球温暖化のため、地球上のあらゆる地域で豪雨災害や干ばつが起っています。皆さんが今経験している新型コロナウイルスによるパンデミックも100年に一度の人類の危機と言えます。勉学中の身といえども社会情勢や地球環境の変化に敏感にアンテナを張り、社会人として確固たる意見を持つことが、これまで以上に大学生に求められるようになっていきます。社会のことは大人に任せて自分たちは勉強やサークル活動をしていればよい、などという大学生を日本社会は求めなくなっていることを強く自覚してください。

香川大学の教育の柱であるDRI教育について紹介します。Dはデザイン思考のD、RはリスクマネジメントのR、Iはインフォマティ

クスのIです。皆さんは知識集約型社会という言葉を知っていますか。発見や発明、知識や情報、優秀な人材が単独に存在してもそれだけでは社会の発展には不十分で、多様な知識を集め、様々な個性のある人間を適切に組み合わせることで活力が増し、イノベーションが生まれる、そういった社会を指します。我が国は現在、成長期から成熟期に入り、どんな国にすればよいのか、国自体が戸惑っているともいえる状況にあります。高齢者が増え、出生数は減り、人口が激減するという歴史上どこの国も経験したことのない社会にすでに入っているとも言えます。この難しい局面にある日本を生まれ変わらせるには、どの国にも負けない豊富なアイデアで新しい価値を次々と生み出していかねばなりません。その主役になるのは今私の目の前にいる皆さん方です。デザイン思考は人間中心のイノベーションとも呼ばれ、価値を創出し、課題を解決する方法です。この手法を学べば誰でもイノベーターになることができます。リスクマネジメントはデザイン思考と表裏一体で身に付けてほしい能力です。デザイン思考で新しい価値を創造する過程にも様々なリスクが待ち受けています。それらのリスクを可能な限り予見して回避し、避けられなかったリスクに対しても柔軟に対応できる能力は、間違いなく皆さんのこれからの人生に役立つものです。インフォマティクスのIはデータサイエンス能力とも言えます。あらゆるものがインターネットでつながる高度な電腦社会が到来しています。デザイン思考でイノベーションを興すにしてもリスクマネジメントを効率よく行うためにも、効率よく情報を収集し的確に分析できるデータサイエンス能力は大きな力になります。皆さんが将来どのような職業に就くにしても、身に付けていることで間違いなく大きな力になるDRI能力を、香川大学の全学共通教育では様々なカリキュラムを通して身に付けてもらえる様にしています。さらに、リスクマネジメントとインフォマティクス能力に関しては、今年度から特別な教育コンテンツを用意しました。各々8回の教育コンテンツをe-learningで好きな時間に視聴し学んでいただけるようにしました。さらに、前期終了頃に全学一斉にDRI検定試験を受けてもらうことになっています。優秀な成績を収めた方にはDRIそれぞれのマスターの称号としての認定証を発行する予定です。検定試験は1年に1回ですが、卒業するまで何回でも受験できるようにします。ぜひDRIマスターを目指して頑張ってください。

突然話が飛びますが、植物は開花の時期をずらしたり、背丈を違えたりして、常に多様性を広げようとしているそうです。人間はともす

るとバラツキを嫌い、標準化を図りますが、生き延びる工夫は植物の方が上手かもしれません。最後になりますが、香川大学は昨年10月にダイバーシティ&インクルージョン推進宣言をしました。多様性を受け止めて支えあう環境作りに一層力を入れるという宣言です。皆さんの中にもジェンダーの問題や、心や体の障害を持ちながら入学されてきた方が少なからずおられると思います。人間は本来、もろく傷つきやすいものです。しかし、皆で支えあって、力を結集するとものすごいパワーを発揮し、不可能と思われたことも可能にする潜在力があることも事実です。香川大学では一人ひとりの学生の個性を大切にし、全ての学生が大学生活を通して学びを深め人間として大きく成長する様に、教職員一丸となって皆さんをサポートします。これからの大学生活、楽しんで、そして頑張ってください。

本日はおめでとうございます。

令和4年4月3日
香川大学長 笥 善行